

### 公営企業会計

民間企業と同じように、事業収益で運営している会計です。

水道事業	4億7,100万円 (対前年度比 -22.6%)
簡易水道事業(※)	9億5,919万円 (対前年度比 +30.7%)
下水道事業(※)	10億5,876万円 (対前年度比 -19.1%)

### 特別会計

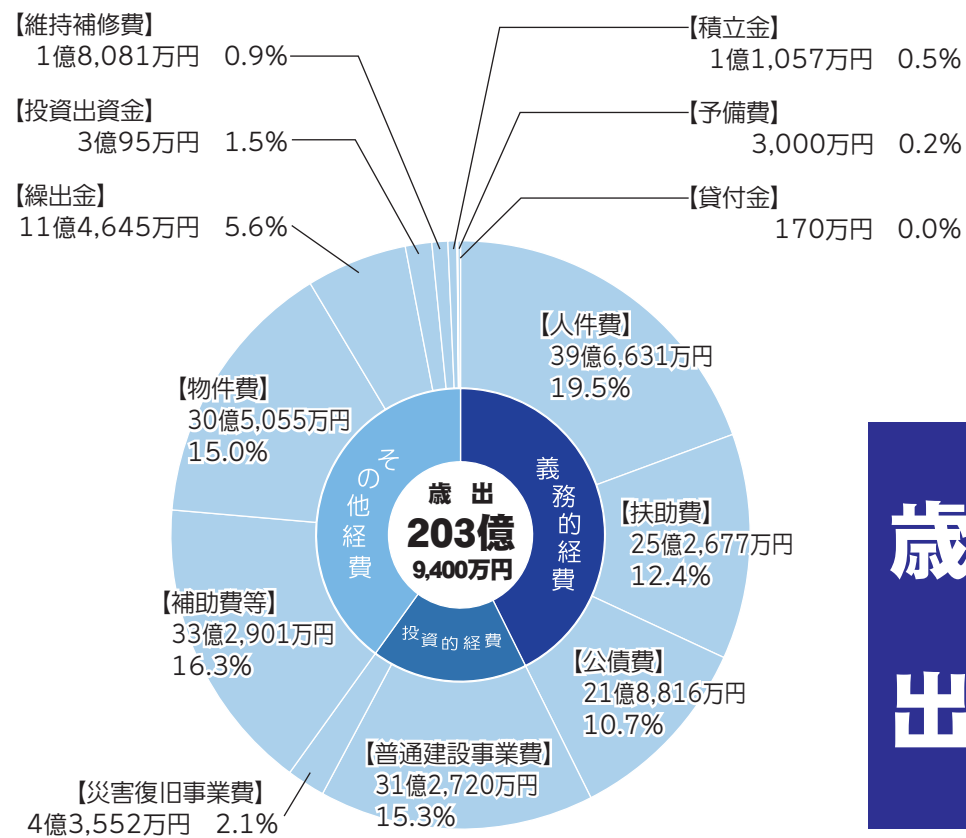
国保税など特定の収入があり、一般会計と分けて経理することで、収支を明確にした会計です。

会計名	予算額	対前年度比
国民健康保険特別会計	32億450万円	-15.6%
後期高齢者医療特別会計	5億7,980万円	+3.4%
介護保険特別会計(保険事業勘定)	36億4,169万円	+0.6%
介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)	2,042万円	+46.3%

※令和4年度から、簡易水道事業と下水道3事業が地方公営企業法の適用により、公営企業会計に計上されています。

### 一般会計 目的別歳出

民生費	71億3,105万円
総務費	29億3,813万円
公債費	21億8,816万円
教育費	20億1,414万円
衛生費	18億8,826万円
土木費	14億548万円
農林水産業費	9億8,037万円
消防費	8億3,610万円
災害復旧費	4億7,379万円
商工費	2億2,517万円
その他	3億1,355万円 (議会費 1億7,013万円、諸支出金 1億1,322万円、予備費 3,000万円)



人件費の増額は、主に人事院勧告にともなう給料表改定および会計年度任用職員の勤勉手当の開始によるものです。

普通建設事業費の増額は、新美良布保育園建設事業や新西庁舎建設事業などの増額によるものです。

人件費：議員報酬や職員の給与等  
 扶助費：生活保護費・児童手当等  
 公債費：借金の返済金  
 普通建設事業費：新たな道路整備や施設建設に関する事業費  
 物件費：消耗品費・光熱水費・通信費等  
 補助費等：一部事務組合等への負担金や補助金  
 積立金：市の預貯金  
 繰入金：他の会計(特別会計)へ支出されるお金  
 維持補修費：市の施設等の管理や補修に要するお金

### 歳出

## 令和6年度の当初予算

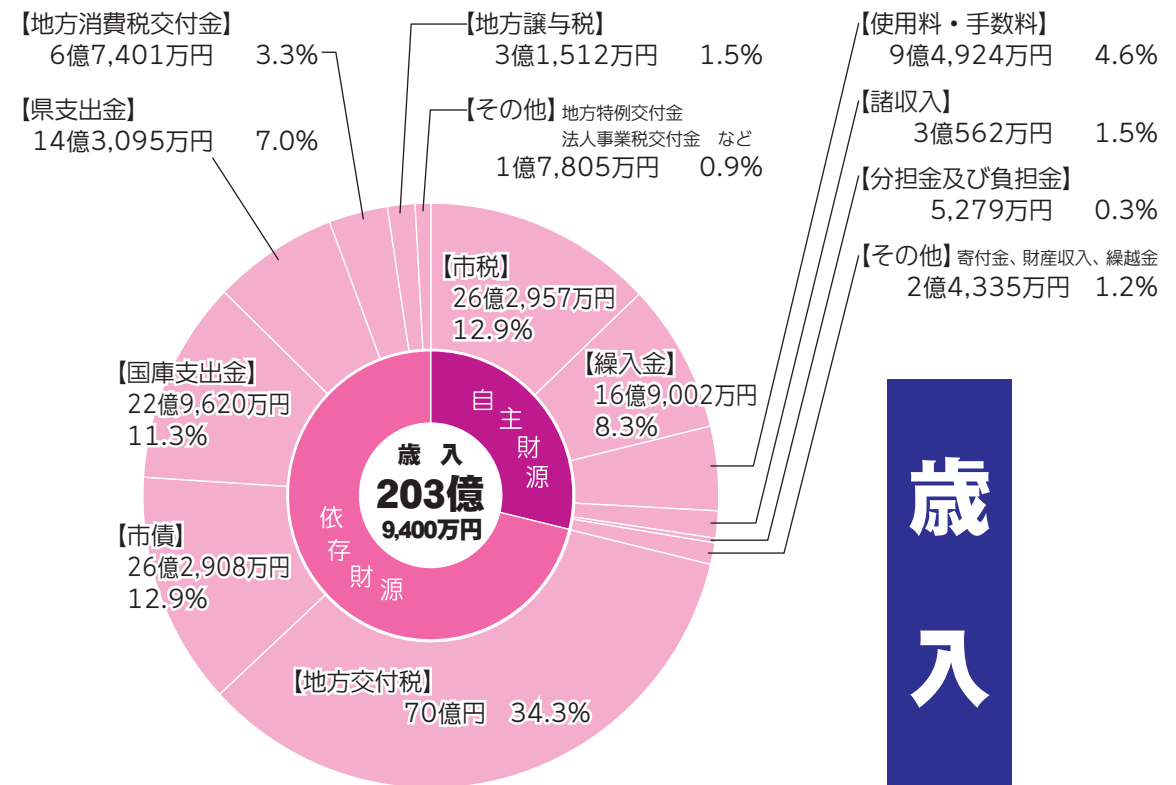
# 総額純計 282億1,321万円

対前年比2.4%増 (前年度は275億3,991万円)

各会計重複額  
21億1,615万円

市の会計は、一般会計・特別会計・公営企業会計の3つの会計に分かれています。

一般会計	203億9,400万円	特別会計	74億4,641万円	公営企業会計	24億8,895万円
------	-------------	------	------------	--------	------------



市税は前年度比で4508万円、1.7%の減を見込んでおり、市債は前年度比で11億5092万円、77.9%の増となっています。

生じた財源不足を補うために、財政調整基金14億7182万円を取り崩します。

繰入金：積立金の取り崩し等  
 分担金・負担金：保育園費など  
 諸収入：貸付返済金、預金利息等  
 使用料・手数料：市営住宅の家賃、住民票発行手数料等  
 地方譲与税：国税として徴収され、市に配分されるお金  
 地方交付税：財源の不足分に応じた国からの交付金  
 国庫支出金：国からの負担金・補助金  
 県支出金：県からの負担金・補助金  
 市債：市の借金

### 一般会計

福祉・教育・道路整備など、基礎的な行政サービスを行う会計です。一般会計の歳入・歳出予算総額は203億9400万円です。対前年度比78%の増となっています。

